

■ 草津市都市計画マスタープラン

【第3回策定委員会での意見および対応】

【国の分析ツールを用いた都市構造の分析】

【アンケート調査の集計結果】

【第1回地域別市民会議の開催結果（概要報告）】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	資料4の国の分析ツールを用いた都市構造の分析において、「安全・安心」の分野の指標が3つしかないのはなぜか。 また、市民一人あたりの交通事故死亡者数について、どの道路でどういう原因で起きたのが重要であり、深く掘り下げ反映してほしい。	◇警察の情報となるため、調べられるか確認します。市民一人あたりの交通事故死亡者数は交通量が大きく影響していると思いますし、道路構造も含め事故の状況が確認できれば御提示させていただきます。 ◇交通量が大きく影響するのであれば、交通量をどうしていくのかを検討していかなければならないと思います。	◇左記回答のとおり、情報を入力できるか確認の上、適宜、情報を提示します。
委員	ある委員会で、資料を提出していただけないかとお願したところ、警察の方は出せない、かなりガードが固いと思う。ただ、事故は件数だけではなく、どういう状況により発生したのかをみていかなければ、判断を誤ることも起こりえるため、提出いただけたものは提示してほしい。		
委員	開発許可面積（調整区域/市街化区域）について、草津市は調整区域での許可が多いため偏差値 50 を下回っていると思う。 調整区域の開発については、市の方針に基づいた現行の都市計画マスタープランや都市計画の内容からすると、予定したとおりなのか、それとも予定外なのか。	◇現行の都市計画マスタープランにおいては、都市計画法第 34 条 11 項に基づき、調整区域でも開発を誘導できる施策をとっています。 ◇草津駅及び南草津駅の乗降客数が滋賀県内で1番と2番であり、人口が増加しているのは、調整区域の開発が比較的ゆるやかに進められていることが要因であると思っています。 ◇一方で、小・中学校を統合していくなかで調整区域の開発によりマンモス化も招いてもおりますが、草津市の活力の要因になっています。	◇現行の都市計画マスタープランに基づく市街化調整区域での開発誘導の考え方は左記回答のとおりですが、次期都市計画マスタープランにおいても同様の考え方を継承するかは、立地適正化計画や草津市版地域再生計画等との整合や、地域別市民会議での今後の御意見も踏まえて方向性を検討していきます。
委員	マイナンバーカードにより、コンビニで住民票の取得などができるようになった。そうすると市役所に行く、公共交通を使って外に出かける理由は何かがあるかが問われる。 情報社会により、買い物もネット通販により宅配で受け取るというように変わっていくなか、今、	◇高齢化社会のなかで、病院や駅前に買い物に行かれることもあれば、ネット通販で宅配されることも社会潮流においても御説明しましたが、それらを見えながら御議論いただければと思っています。 ◇20年先の市民の皆さん・若い方も高齢者もいらっしゃるなか	◇今回のアンケート調査で得られたとおり、年代別にまちづくりへのニーズが異なることを確認できましたので、それらを踏まえて、適切かつ効果的な施策立案を検討します。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>交通が不便であるからといって、若者の意見を取り入れずに道路に投資する議論を進めてよいのか。アンケート調査の回答は年齢が高い方が多く、若者の生活様式についても考慮すべき。</p>	<p>でのまちづくりを検討いただければと思っています。</p> <p>◇資料5の 27 ページ「重点的に進めるべきまちづくりの分野」を御覧ください。</p> <p>◇30 歳代以下、40～50 歳代、60 歳代以上という区分にしていますが、60 歳代以上は「生活に必要な施設がまとまった歩いて暮らせる市街地の形成」が他の世代に比べて高い結果です。</p> <p>◇一方、30 歳代以下では「安全な交通環境の形成」が、40～50 歳代では「地震や水害などに対応できる防災・減災のまちづくり」が他の世代に比べて高くなっています。</p> <p>◇各分野の世代別の結果も次頁以降で見ただけのようになっています。</p>	
委員	<p>資料5では「満足度」と「重要度」としてグラフを作られているが、「重要度」はアンケートが選択肢の中から2つずつ選ぶ方法で、その選択肢が選ばれた割合なので、「関心度」などの言葉にした方がよい気がする。</p>	—	<p>◇アンケート調査票においては、「重要度」として設問を設けていたため、言葉自体に関しては変更出来ないものと考えています。</p>
委員	<p>資料6で、学区ごとに地域別市民会議を開催されているが、総合計画の地域別懇談会と同じようなやり方で概ね同じメンバーとなっている。</p> <p>総合計画と同じような意見が多数出ていると思うので、すみ分けをしてほしい。</p>	<p>◇総合計画では昨年、中学校区ごとに開催しました。</p> <p>◇都市計画マスタープランで1月から地域別市民会議を開催した際には、総合計画でいただいた意見を都市計画の分野ごとに整理したものを示したうえで、意見をうかがいました。</p> <p>◇また、総合計画の方は1回で終わりですが、都市計画マスタープランでは2回目を開催し、20年後の地域をどうしていくのか議論しながら、より良い地域づくりを進めていきたいと思っています。</p> <p>◇もう一度、資料5を御覧ください。地域による違いを事例で簡単に説明します。</p> <p>◇41 頁の志津学区の満足度と重要度の評価をみますと、志津学区はまちなかから少し離れており、公共交通機関が不満で重要となっています。</p> <p>◇97 頁の玉川学区は南草津駅の駅前ですので、「安全な交通</p>	<p>◇両計画の会議ともに御参加頂いている地域の皆さまにおきましては、改めまして感謝申し上げます。</p> <p>◇今回の都市計画マスタープランの地域別市民会議では、都市計画分野に特化して、地域住民が日々感じている課題や、課題解決のための方向性等について活発な御意見を頂いており（今後も含む）、その結果を踏まえ、地域別構想等への反映を予定しています。</p> <p>◇そのため、総合計画での意見整理とは違った視点での整理及び分析を進めています。</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
		<p>環境」や「防犯対策」が重要となっています。</p> <p>◇まちなかではどの分野でも満足度が高い傾向にあり、周辺部では公共交通機関や道路の渋滞などの不満があり、私たちの普段の感覚と近いと思います。これらを踏まえ、施策・事業について地域別市民会議で議論していければと思っています。</p>	
委員	<p>資料6の44頁「湘南電気」は「湖南電気」の間違いである。</p> <p>また、総合計画と都市計画マスタープランの違いをはっきり示す必要がある。</p> <p>都市計画マスタープランはインフラ整備や利便性を進める計画である。</p>	—	<p>◇御指摘の内容は訂正致します。</p> <p>◇両計画の関係性としては、委員御指摘のとおり、現在、総合計画も作成中であるため、計画内容の整合及び位置付けの明確化を図っていきます。</p>
委員	<p><u>（委員の御発言を受けて）</u></p> <p>総合計画は草津市で最上位に位置付けられ、市の課題等をすべて視野に入れながら取りまとめるものである。都市計画マスタープランは、フィジカルプランとして施設をつくるだけでなく、制度をつくり誘導していくもの。</p> <p>ただし、きちっと分けすぎると議論の幅が広がらないので、フィジカルプランである都市計画についてということを念頭に置きつつ、発言はやや柔軟にさせていただいても結構ではないかと思う。</p> <p>総合計画が作成中のため、都市計画マスタープランで議論したことが上位計画である総合計画においてもうまく位置付けられるよう、工夫をしていきたいと思う。</p>	—	
委員	<p>資料5のアンケート調査の回答率の高さに驚いている。</p> <p>3,000通のうち1,037の回答で、3分の1の方が返事をする意欲をもっている。私たちが計画を立てるに当たり、心しておかなければならない。</p> <p>年代別にみても、各世代ともにきちんと提出していることを鑑みると、市民の声を聞くことが一番大事な手法であることを再確認していただいたと思う。</p> <p>学区ごとの集まりで発言いただける方、アンケートであれば御意見をいただける方、今後、ネッ</p>	—	<p>◇アンケート調査結果を十分に踏まえ、年代別や地域別の意見等に基づき計画を検討していきます。</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	トなども含め、たくさんの市民の声を反映していくうえで、草津市民は関心があるということを確認させていただいた。		
委員	<p>資料4において、強みを伸ばすのか弱みを補填するのか、それによって都市計画マスタープランの方向性が変わるとおっしゃいましたが、ここが一番重要な議論だと思う。平均的なまちを目指すのか、もっと個性的なまちを目指すのかということをお委員の皆さんに御意見をいただきたい。</p> <p>高齢者徒歩圏に公園がある住宅の割合が低いとなっているが、草津川跡地に長い公園ができたことで、随分変わるでしょうし、お年寄りが田園地域を散歩されている姿を頻繁に見る。自然の多い草津市において、人工的な公園をたくさん作った方がいいのかなどの議論があり、偏差値よりも草津市としてはどうすべきか議論したらよいのではないか。</p> <p>若い人の人口を増やすため都市的土地利用を増やすのか、自然と共存していく形とするのか、私は共存させていただきたいという意見である。</p>	—	◇本市の強み・弱みを客観的に認識した上で、御意見のとおり、どの部分に力を入れていくのか、そのターゲットを明確にした上で、目標や施策を検討していきます。
委員	資料4の空き家率は高い方がいいのか。指標により高い方がいいのか、低い方がいいのか変わってくると思う。	◇空き家率は少ないほど偏差値が高いということになります。	◇御意見のとおり、優劣の解釈が難しい指標もありますので、各指標に補足の説明を加えた資料を作成します。
委員	空き家率は安全・安心の分野にあるので、防犯や防災上の問題という観点で捉えられており、そういう意味では空き家が少ない方がいいということか。	—	
委員	誤解を招かないように、よく伝わるようにしていただいた方がよい。	◇検討させていただきます。	

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	偏差値を 50 とするのは国の資料もそうなのかな。	◇各指標の偏差値は 50 を基準にしたなかで、50 より上か下かを示しています。	◇本資料は国土交通省のデータに基づき検討時の参考資料として作成の上、提示していますが、このデータを計画書に掲載する場合は、内容について十分に精査します。
委員	普通に左右対称の分布であれば平均の偏差値 50 でそれを超えていけばよい方で、それより下であれば悪い方となると思いますが、極端に偏っている場合はそのようには置けないと思う。 資料が出てしまえば、これが草津市の状況だと皆さんが思ってしまうので、もし今後都市計画マスタープランのなかでこの図を公表していくのであれば、内容を吟味しておくべきだと思う。 市民一人当たりの自動車総走行台キロにおいて、草津市では自動車保有台数が多いようですが、50 よりも外側に来ています。実感とこの値を照合されているか。	◇そこまではできていません。都市計画マスタープランに指標が少ないため、見える化をするべきとの意見をいただいていたので、参考として国交省が作成している全国的な平均と比較した資料を御提示しました。	
委員	実感と合っているかの突き合わせはしっかりしていただいた方がよい。 1 世帯当たりの車の保有台数が多い、皆さん車に乗っておられるという実態が本当であれば、要望として公共交通機関があがっていることをどう捉えるのが、議論に関係してくる。	—	
委員	統計というのは「それが嫌いですか、好きですか」と聞かれた場合は「嫌い」とは答えにくいですが、「好きじゃないですか、好きですか」と聞かれた場合は「好きじゃない」と答える人も多いと思う。 この統計が実態と合わないからといって、このデータを掘り下げていくのは非常に難しいと思う。国が示したデータでもあるので、確かにそうだと思うのであれば議論の参考とすればよし、そうは思わないということもあると思う。参考データについて長く吟味するとなかなか前に進まないで、あくまで数字という認識で参考にしながら、議論を深めていただきたい。	—	◇御意見のとおり、本資料は検討時の参考資料として作成していますが、今後、この内容をもとに更に深掘りした分析を進める場合は、データの内容について十分に精査します。
委員	空き家率について、これを見たときに草津市は全国平均より空き屋が多いのか少ないのか迷うことが問題という話をしている。 市街化区域における人口密	—	◇御意見のとおり、優劣の解釈が難しい指標もありますので、各指標に補足の説明を加えた資料を作成します。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>度は高い方がよいのか、低い方がよいのか。</p> <p>草津市の場合はおそらく一家に何台も車があり、相当車に依存した生活をしていると思うが、このグラフで見ると偏差値 50 よりはよいことになっている。今の車に依存した生活をよい状況だと思ってよいのか、公共交通を整備してほしいという声がたくさんあがっていることから、そうではないと思う。</p>		
委員	<p>偏差値が高いのがよいのか低いのがよいのかよくわからないと議論にならないため、そこをきちんと整理してほしい。</p> <p>ソフトに数字を入れると必ず答えが出ますから、答えが出ただけで喜んではいけない。</p> <p>また、「統計でウソをつく」というものがあり、統計は慎重にかつ的確に使うようにお願いします。</p>	<p>◇どこまでバックデータを整理できるかはありますが、まずはこの資料で、指標の補足説明はさせていただきます。</p>	<p>◇御意見のとおり、優劣の解釈が難しい指標もありますので、各指標に補足の説明を加えた資料を作成します。</p>
委員	<p>資料5の 16 頁「都市計画に関する各分野の今後の方針について」で、これで割合が高いところは関心が高く、今後何とかしないとイケないところだと思うが、例えば「バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した安全な歩行空間づくり」は、そんなに割合は高くないが、これに関しては進めていってほしいところなので、単に数値だけを見るのではなく、考えていただきたい。</p>	<p>◇20 年後のまちの姿を考えると、どういうことが大事なのかということを皆さんで御議論いただきたいと思います。</p>	<p>◇市民意向を汲み取るためのアンケート調査結果とともに、その結果に関わらず、市として将来的に取り組むべき施策も多くあります。</p> <p>◇御意見のバリアフリーやユニバーサルデザインによる歩行空間づくり等は重要な施策として認識しており、駅周辺のまちづくり等において施策として検討します。</p>
委員	<p>国による偏差値のデータということで、これをある程度参考にして次に進めていけばいいと思うし、偏差値が低い指標をまず上げることは大事だと思う。</p> <p>「高齢者徒歩圏に公園がある住宅の割合」が低いですが、10 年 20 年先には高齢化社会が進む。草津川跡地に公園ができたが、そこへ行く交通手段がなかなかない。行きたくても行けない人がかなりいると思う。</p> <p>近場にある公園を利用して、若い方からお年寄りまでが話ができる場づくりを考えていくことが大事ではないかと思う。触れ合いサロンなどがあるのですが、行きたくても行けない方が結構いる。</p>	—	<p>◇御意見を十分に参考にし、目標や施策等の計画内容を検討していきます。</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>資料6の地域別市民会議は地域によってかなり違うことがよくわかった。地域の目標、地域の必要としていることを明確にして、それに対応していくことが大事だと思う。</p> <p>資料6でもある地域属性を考えないわけにはいかないと思う。</p>	<p>◇御指摘いただいたとおりです。地域別市民会議では夢のある話から現実の課題までいろんな意見をくださいとお願いしました。</p> <p>◇その中で、できるものできないものがあるかもしれませんが、まずは皆さんの思いを聞かせてほしい、都市計画マスタープランに皆さんの思いを入れていきたい、という説明をしていますので、しっかり議論していきたいと思います。</p> <p>◇一方で、包括的に全体構想をどうしていくのかについての御議論をいただければと思っています。</p>	<p>◇御意見のとおり、地域別市民会議での地域ごとの課題や施策の方向性等に関する御意見を踏まえ、地域別構想等を検討します。</p>
委員	<p>「公共交通」、駅の近くでは「歩いて暮らせるまちづくり」に関する意見が多い。これらをどう解決するかをしっかりと考えていかなければ、公共交通を増やすだけで解決するものでもない。規制緩和による民間では収益があるところしか公共交通は走ってくれない。</p> <p>「歩いて暮らせるまちづくり」に向けては、買い物や病院など日常的に利用するものが近くにあるということで、そのまちづくりを考えていただきたい。</p> <p>用途地域の変更についても、商業系や容積率などをどのように組み合わせ、そこに何をもってくるかなどの検討が必要である。</p> <p>住みよさとしては悪くないまちだと思いますが、課題もありますので解決していく必要があると思う。</p>	—	<p>◇御意見を十分に参考にし、目標や施策等の計画内容を検討していきます。</p>
委員	<p>今の御意見に対しては対応していかなければならないと思う。</p> <p>草津市で策定された立地適正化計画はコンパクトプラスネットワークという考え方である。それから、市街化調整区域に関しては草津市版地域再生計画において郊外部に拠点が位置付けてあるので、これらをきちんと整備していくことを、都市計画マスタープランにも示すことが必要だと思う。</p> <p>「歩いて楽しいまち」については、全てそうできるかというとし</p>	—	<p>◇御意見を十分に参考にし、目標や施策等の計画内容を検討していきます。</p> <p>◇歩いて暮らせるまちとしては、立地適正化計画、草津市版地域再生計画、地域公共交通網形成計画の3計画が掲げる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方を念頭に置いた中で、地区単位で実現性のある施策を都市計画マスタープランで整理していきます。</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>いと思う。滋賀県の委員会では「歩いて楽しいって、私の家の周り何もありませんよ。」とおっしゃった方がいる。ただ、地域によって色々と工夫しなければならないということだと思うので、今の御意見を十分に頭に入れて進めていただきたい。</p>		
委員	<p>資料6で「川があふれるのが怖い」といった御意見が多いと思った。</p> <p>これに関する対応は市だけではなく県の仕事でもあると思うが、高齢化のなか水害など起きたら大変ということもある。国の資料による偏差値では最寄りの緊急避難所までの平均距離の指標があるだけだが、対応していかないといけないことだと思う。</p>	—	◇河川に関する防災対策については、県とも連携する中で計画書に掲載する施策を検討します。

[主要課題、まちづくりの理念・目標]

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>都市災害については、伊佐々川や葉山川などの改修工事を早急にやっていただきたい。</p>	◇十分に認識しています。都市構造では表示できていませんが、全体構想や地域別構想で記載していきたい思います。	◇左記回答のとおり、計画書に記載する防災対策について検討します。
委員	<p>資料7「問：草津市がめざすべきまちづくりの将来像」で回答割合が少ない「ユニバーサルデザインが定着し、誰もが安心していきいきと暮らせるまち」のユニバーサルデザインは、障害のある方、お年寄りの方などの特定の方に優しいまちではなく、移動困難など、生活するなかで障害がたくさんある方に視点を向けてまちづくりをすると、皆さんにとって住みやすいまちになりますというもので、外せない視点である。</p> <p>ユニバーサルデザインはまちの構造として入れた方がよいのか、「視点4“まちの安全”」で示した方がよいのか悩んでいるところである。</p> <p>新型肺炎の流行で色々な対策を打たれていても、不安が募り世情が不安定になっている。安心感を持たせられるまちづくりを大事にしなければならない。</p> <p>いつ災害が起こっても車イスの人もすぐに避難できるといった</p>	◇ユニバーサルデザインはまちの生活、空間に係る大事な問題です。御意見をうけ、安心・安全はまちの構造に入れてはどうかと思います。草津市の方針として安全・安心、そして便利で快適でユニバーサルデザインなど、皆さんの御意見をまとめていきたいと思います。	◇左記回答のとおり、各方針の記載内容を再整理します。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	常に安心のあるまちづくりが根本ではないか。		
委員	<p>サステナビリティ(持続可能性)は、ユニバーサルデザインも、自然環境も、雇用も必要と、非常に広範なものである。</p> <p>サステナビリティという視点は総合計画においても入っているか。</p>	◇持続可能なまちづくりという視点は入っているかと思えます。	◇総合計画での社会潮流の捉え方や方針設定等において、「持続可能なまち」のキーワードを多く活用しており、重要な視点として認識しています。
委員	<p>滋賀県の総合計画においてはSDGsを重要視している。このように、サステナビリティを前面に出せば、アンケート調査では出てこないが非常に重要だと位置付けられるのではないか。</p>	—	◇都市計画マスタープランにおいても、SDGsとの関連性は非常に重視すべき点であるため、都市計画マスタープランの運用によって何が貢献できるのかを検討していきます。
委員	<p>資料7「問：草津市がめざすべきまちづくりの将来像」で「ユニバーサルデザインが定着し、誰もが安心していきいきと暮らせるまち」と「公共交通が充実して利便性が高く、出かけたいまち」は1つのグループとして見ており、恐らく重視していないのではなく、他の選択肢で回答した可能性があると思う。</p> <p>これらの視点を網羅するようにまとめていただくことが重要だと思う。</p> <p>県でもSDGsの視点として、都市行政においては持続可能性などをどのように入れていくかという議論をしているので、草津市の理念・目標のなかで、どう書くかは検討してほしい。</p>	—	◇県でのSDGsの捉え方も参考にしながら検討します。
委員	<p>河川改修について、一級河川は県管理で県が取り組まなければならない。</p> <p>道路インフラにおいては、河川を暗渠にして道路利用したらよいのではないかという思いもある。これらを含めた計画をしてほしい。</p>	—	◇県とも連携する中で計画書に掲載する都市基盤関連の施策を検討します。
委員	<p>県民・市民から、安全・安心のため天井川をどう解消するか、道路では広く安全な道路、ネットワークをしっかりとつってほしいといった御意見があるのは承知している。</p> <p>一方で、予算の制約があり、どう優先度を付けるかは各市・町と議論しながら進めている。</p> <p>都市計画マスタープランにど</p>	—	◇県での各種事業の優先度等の考え方も考慮した中で計画書に掲載する施策を検討します。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	う位置付けるかについては、個別に整備予定や進捗状況などを確認したうえで書いてほしい。県としても予算の制約があるなか、何を優先するかということもあるので、丁寧に確認しながら反映していただければと思う。		
委員	県と事務局で密な調整をしていただいき、よい結論が出ますようお願いします。	—	◇県とも連携する中で計画書に掲載する施策を検討します。
委員	地域別市民懇談会において外国人労働者についての御意見があったが、日本語が不便な方も一緒に暮らせるというのも1つのユニバーサルデザインである。観光のために案内表示を変えることや、国籍基準に合わせるなど言われているが、それもまた1つのユニバーサルデザインだと思う。 草津市が人口を維持するなかで、外国人労働者を増やすという方向で国も進めているので、草津市もその影響を受けざるをえないと思うので、ソフト面として考えてほしい。	◇外国人や障害をお持ちの方、高齢者など、どのようなユニバーサルデザインを目指すのか共有していきたいと思います。	◇庁内での外国人労働者への配慮の考え方も踏まえ、ユニバーサルデザインに関する施策を検討します。
委員	地域別市民会議をされたときに、障害者の方や外国人の方などは参加されたのか。	◇若い方はいらっしゃいましたが、障害者の方や外国人の方はいらっしゃらなかったと思います。 ◇個別に聞くなどの対応や、専門の視点からの御意見をいただければと思います。	◇左記回答のとおり、障害をお持ちの方や外国人はいらっしゃいませんでした。
委員	「視点3“まちの空間”」について説明してください。	◇「まちの構造」と「まちの空間」については事前説明で違いがわかりにくいという御意見をいただいておりますが、「まちの構造」については土地の利用の仕方や理念について取りまとめていきたいと思っています。 ◇「まちの空間」については、各地域の雰囲気や魅力、賑わいなどの観点で考えており、賑わいづくりや歴史都市、自然などの地域の風土・特徴を活かしたまちづくりを検討していきたいと考えています。	◇左記回答のとおり、2つの方針を再整理して計画書に記載します。
委員	資料7のアンケート結果における「水と緑、自然豊かな環境に恵まれ、環境負荷が少ないまち」から「まちの空間」に線が伸びている。 先ほど水害に関する御意見	◇河川は公共空間であり、川が持つ本来の目的のほか、憩いなどにどう生かしていくのか。また、東海道をありますので、多様な空間づくりをどう仕掛けていくのかということを、「まちの空間」で	◇御意見を踏まえて、「まちの空間」の記載内容を再整理します。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>があったが、その水があることによって自然環境に恵まれているが、反面、災害のリスクがあるという、そこを調和させるという意味での空間ではないのか。</p> <p>どこどこが引っ付くかにより、この「空間」という言葉が持つ意味が変わり、災害対策は重要であるが、その資源があるからこそ自然の恵みを楽しむことができるというところがあり、一長一短だと思う。</p> <p>また、「歴史」が含まれての空間なのかにより、「まちの空間」という視点の持つ意味が変わってくると思う。</p> <p>これらをきちんと紐づけて説明しておかれないといけないと思う。</p>	<p>整理していきたいと思います。</p>	
委員	<p>「視点1“まちの構造”」と「視点3“まちの空間”」の視点の置きどころがつかめていません。資料7の3頁の「視点3“まちの空間”」には、「民間活力」や「賑わい」、「視点1“まちの構造”」には「活力あふれる」と書いてある。「構造」と「空間」という言葉について、もう少し検討する必要があるのではないかと思う。</p>	<p>◇検討します。</p>	<p>◇2つの方針を再整理して計画書に記載します。</p>

[将来人口フレーム]

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>「可能な限り人口維持に取り組む」ということで、入ってくる方が減少する可能性もあるなか、住み続けられるような住みよい都市づくりを考えていくのか。それとも、用途地域等を変更し、入ってくる方を多くして人口減少の抑制に努めるのか。</p>	<p>◇自然増は少子高齢化のなか難しいと思いますので、維持していくにしても社会増をどうしていくのかという課題があります。</p> <p>◇そのため、戦略的な土地利用として、例えば、まちなかを高度化する、まちなかのマンションは若い世代のほか、便利な駅前に高齢者の方が住まれる時代になっていますので、駅前にはサービス付き高齢者住宅を配置するなどの施策を打ちながら維持していきたい考えています。</p> <p>◇また、アンケート調査結果において、90%以上の方が住み続けたいと思っていますので、住み続けたいと思うのはどういうところかということ、地域別市民会議で掘り下げて聞き、土地利用に反映したいと思っています。</p>	<p>◇左記回答のとおり、駅周辺の利便性の高いエリアに市外からの居住者を誘導する等の各種の居住に関する施策展開により、市内の自然減に対抗した社会増に努め、全市的な人口の維持に取り組む必要があります。</p> <p>◇計画書では、地域ごとの特性に応じた居住誘導施策を検討の上、計画書に掲載していきます。</p>

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
		す。	
委員	令和2年から令和12年までに4千人増えるとなっているが、4千人増えることにより、政策的に何か問題は出てくるのか。	◇例えば、1つの地域のみ人口が増えれば、高穂中学ではマンモス化していますが、小・中学校の問題が出てきます。 ◇総合計画ではコーホート要因法を用いて推計しており、地域別の想定まではできていない状況です。	◇どの地域で人口増加を図っていくかについても重要な視点のため、その点も念頭に置いて、各地域の居住誘導の方向性や施策等を検討します。
委員	ある地域では増加する可能性もあるし、減少するところも出てくる。 それらに対しては、個別の計画で取り組んでいかなければならないということか。	◇そうなります。常盤学区や山田学区など人口が減っている学区もあり、駅前の地域はまだ人口が伸びています。また、50戸連たんにより開発が比較的進めやすいところでは人口も増えているところもあります。 ◇まずは、地域の思いを聞いていきたいと思っています。	◇地域別市民会議での地域住民からの御意見も踏まえながら、地域ごとの人口見直しに応じた居住誘導や維持の方向性を整理の上、対応施策を検討します。
委員	このフレームにより目標点をつくり、それに向けてまちづくりの施策を打っていく作業だと思うので、これはこれで良いと思う。 施策としては高度化や、地域を維持するため戦略的土地利用という言葉があるので、場合によっては市街地を拡大させるという話もあるかも知れない。 一方、草津市ではコンパクトプラスネットワークを推進しているなか、市街地を拡大させるのかということもあり、このような矛盾にどのように折り合いをつけるか整理していただければと思う。	◇県の方針との調整をお願いします。	◇立地適正化計画等の3計画と整合を図る中で、都市部と郊外部の適切な土地利用のバランスを検討していきます。

【将来の都市構造】

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	琵琶湖側に地域再生エリアがいくつか設定されている。 資料5の142、143頁で常盤学区の「良好な住環境」「歩いて暮らせる市街地形成」「公共交通機関」の満足度が低い傾向が出ている。 全体で3割程度の回収率であるが、常盤学区だけ配布が100通程度になっているのは理由があるのか。	◇学区別の人口比で配布数を設定しています。	◇左記回答のとおり、14学区別の人口比で配布数を設定しています。
委員	回収が35程度では、極端な意見が表に出てきやすく、意見の偏りをみると、常盤学区の満足度が突出して低いことから、	◇常盤学区はすべて市街化調整区域の学区です。 ◇回収が35は少ないと思いますが、地域別市民会議での意見	◇今後の常盤学区の地域別市民会議での御意見を分析した上で、地域の施策を検討していきます。

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
	<p>本当にそうなのかと、35 の回答でいいのかとなる。</p> <p>もしこれでもいくのであれば、地域再生エリアでも常盤学区は別枠で見ないといけないかもしれない。</p>	<p>をお伺いした感覚ですと、そういう思いは強いと思います。定住意向も常盤学区だけが約 74% と他学区と比較して悪い。極端かもしれませんが、「家があるし住まないと仕方がない」くらいの感覚だと思いました。</p> <p>◇草津市版地域再生計画においても、常盤学区が最も危機感を持っている学区でもありますので、生活拠点の形成ができるようにしなければならないと思っています。</p>	
委員	<p>アンケートやワークショップの意見と、地域別のビジョンは繋がらなければならないと思うので、メリハリをつけていただいた方がよいと思う。</p>	—	◇御意見のとおり、地域別市民会議での地域ごとの課題や施策の方向性等に関する御意見を踏まえ、地域別構想等を検討します。
委員	<p>「複合連携核」の意味合いを教えてください。</p>	<p>◇福祉エリアもあり南の玄関口でもあるため、福祉と複合した核をつくってきたいという意味です。</p>	◇びわこ文化公園都市の一部として、既存の施設間の連携や、新産業の創出等により、福祉・医療・文化等の交流が促進する核の形成を目指して名称を設定しています。
委員	<p>都市計画道路が半世紀も前から計画があるが、未だ整備できていない。</p> <p>草津市は東西を抜ける道路が難しく、高速道路、山手幹線、新幹線、京滋バイパス、国道 1 号、JR を横断しないと道路が完成しない問題もあるので、既存の道路をうまく使えるように拡幅整備をしていただければと思う。</p> <p>また、河川においては、JR より東側は平地化できておらず、住宅も張り付いていることから、洪水が起きた時に浸水するなどの問題もある。</p>	—	◇将来都市構造では、東西方向の道路は、環状軸の一部として位置付けており、環境整備を推進するものとしています。その中で、具体的な整備方針等を説明できる区間がある場合は、計画書に記載していきます。
委員	<p>東西方向の道路について環状軸の位置づけがあるので、都市計画道路の整備を都市計画マスタープランのなかで書いていただきたいと思う。</p>	—	
委員	<p>交通量の資料で、東西道路の地点があまりないので、資料がないということであれば仕方がないが、東西道路の交通量の資料を増やしてほしい。</p>	<p>◇東西軸の観測点がこの 22 年度と 27 年度の調査を比較するうえで絞られています。</p>	◇左記回答のとおり、2つの時点を確認できる観測点を整理した資料となっています。
委員	<p>調査地点として調査は行われているのか。</p>	<p>◇前回前々回の間で観測点を改めて実施されており、比較できる観測点に絞っています。</p>	

発言者	意見（要旨）	回答	対応・検討の状況
委員	<p>南の地域は大津市との関係がかなりある。</p> <p>県のマスタープランも現在作成中ということだが、どちらかというと大津市と一緒になった生活圈でもあるので、少し市域外も取り入れることは難しいか。</p>	<p>◇他市の区域を入れるのは難しいかと思います。</p> <p>◇都市構造としては草津市域になりますが。例えば文章のなかに近隣市との連携ということをかかということもあります。</p>	<p>◇草津市都市計画マスタープランで市域外の土地利用方針等を言及することは難しいのですが、委員の御意見のとおり、大津市等は同じ大津湖南都市計画区域として、県が主導する中で広域性を持って都市計画を推進している側面もありますので、大津湖南都市計画区域マスタープラン(改定中)での方針を踏まえた都市間連携のあり方等についても検討していきます。</p>
委員	<p>直接、検討対象にすることはできないと思うが、大津湖南都市計画区域のなかに入っている、そういう視点から連携を取り、御提示いただければと思う。</p> <p>あくまで基礎自治体で責任を持つというところに最終的にはなると思うので、大津湖南都市計画区域での連携を模索してほしい。</p>	—	
委員	<p>資料5をみると公共交通に対する不満が多い。駅に向かうには便利だが、そのラインから外れて横の方へ行こうとすると、例えば市役所へ行くバスを調べると本数が少ない。駅前では便利だという地域に住んでいるにも関わらずそれくらい思っているということは、まちから外れた郊外にお住いの方が不便だというのは、最もだということを感じ、20年後には対策ができているとよいと思う。</p>	—	<p>◇市内各所の公共交通ネットワークの利便性の維持・向上については、立地適正化計画、草津市版地域再生計画、地域公共交通網形成計画の3計画が掲げる「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方を踏まえた中で方向性を検討する必要があり、都市計画マスタープランにおいても、それらの方向性を整理していきます。</p>
委員	<p>将来都市構造図について、地域再生エリア同士をつなげるネットワークをどう考えるのかという疑問がある、できるのならあった方がよい。</p> <p>地域再生エリアが相互に動くことでより活性化できる可能性もあり、実際にお住まいの方にとっては選択肢が増える。地域再生エリアのネットワークは一方向だけではなく、地域再生エリア同士を網の目状は難しいので、緩いネットワークができればよいと思う。</p>	—	<p>◇御意見のとおり、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の考え方においては拠点間の公共交通による繋がりが重要な視点であり、その点が抜けていましたので、地域再生エリア間を公共交通で繋ぐ軸を新たに設定します。</p>